



No.860 2024年 2月29日

国鉄労働組合東日本本部  
港区新橋5-15-5 交通ビル7F  
発行責任者 伊藤 隆夫  
編集責任者 常盤 達雄

国労で  
一緒に築こう  
明るい職場

# 第41回東日本本部拡大委員会

働き続けられない  
エルダー職場

将来不安から  
離職・要員不足

サービスレベルの  
低下があたり前に



委員会では彦田副委員長の司会で始まり、議長には新井委員（東京・八王子）が、副議長には藤井委員（新潟）が選出され、議事に取り組みました。

国労東日本本部は、2月10日に新橋交通ビルにおいて、第41回拡大委員会を開催しました。国鉄採用世代がエルダーにほぼ移行し、JR世代に引き継いでいく、重要な時期の委員会となりました。

運動・組織・財政を  
引き継いでいこう

また、組合員の減少でニュースなどが届きにくくなっていることから、TUNAGアプリを使った情報交換で、組織強化・拡大をめざす取り組みの訴えがありました。

## つながりは 労働組合の 生命線



委員長あいさつ

1点目は、安全安定輸送の確立と働く者の安全を守る取り組みについてです。大会でJR東日本が進める構造改革、前倒しで進める効率化施策や固定費の削減の足元で発生している、一歩間違えれば大惨事につながりかねない事象について報告をしました。その後、JR東日本に申し入れを提出、その交渉が開催され、再発防止対策について求めました。

労使の共通の課題認識は「いかに賃上げの勢いを中小企業に波及させるか」との報道がされています。23春闘ではJESSSにおいて2000円の賃上げ、さらに警備会社などは最低賃金の調整のみが行われ、JR東日本グループ内において業務委託している企業への賃上げは必須の課題といえます。JR東日本社員の賃上げはもとより関係会社社員の労働条件引き上げに向け、労務費の適正な価格転嫁のできる環境整備を業務発注側のJR東日本に求めるものです。

3点目は、組織強化・拡大と組織の戦線整備についてです。昨年8月の大会にて、次世代の皆さんに過度な負担をかけない機関運営と、JR世代の横の連携、そして、所属会社と向き合うための戦線整備という観点から、「今後の国労東日本本部『組織の在り方』と規約改正（案）について」を正式提案しました。

# 各委員からの発言

## ●佐藤敏幸委員・神奈川地区本部

ユニオン建設大船出張所でレールや分岐器の検査をしている。平均月6回の夜勤で線路検修責任者か線路閉鎖責任者に従事。打ち合わせや申請の書類作成で一日中PCに向かう時もあり、目が疲れ、非番でもなかなか熟睡できない。あと4年働けるか心配。昨年同期が「もうやつていられない」と退職。出向先の労働条件改善を求める。



昨年賃金改善も物価上昇に追いつかず。先輩の退職も目立ち、同期3人も退職。歯止めがかからない。今春闘は、削られた係数2と満額を勝ち取るため、ストライキを背景に取り組むことが重要。

エルダー社員が出向に出され、本体に技術力と知恵が残らない。また、出向先の労働条件が過酷。客貨一体・グループ会社一体となった取り組みを。アスベスト問題では、健康被害に対する裁判を取り組み中で3月に判決和解協議でもJRは否定的な態度。

## ●早川委員・東京支部

組織減少・社員置き去りの会社施策で仲間がいなくなり孤立も。少数でも「同じ考えの仲間」に会って愚痴が言い合える「ことで心の支えになる」のが労働組合の存在。国労は組合員の居場所。組合事務所を残して集ま

## ●秋山委員・仙台地本

宮城県支部の方が65歳以降の雇用継続を求めている。国労本部に「組合員資格」の承認申請中。慢性的要員不足の中で、希望者の87%は雇用延長されるが、宮城県支部役

員の雇用継続拒否が続く。それでも一般組合員はほぼ雇用継続になり、取り組みの成果。県内で30駅が窓口廃止。現地調査、街頭宣伝、チラシ配布、アンケートハガキを実施。多くの方が私たちの運動に理解を示す。お客様の9割は「サービス低下」と回答。今後の運動につなげる。

エルダー出向の労働条件改善に出向先との団体交渉ができるように要請する。本部の賃金・生活実態アンケート調査では、今春闘のJR東日本内組合員の生要求額は38685円。物価高で生活実態はますます厳しい。ストライキを配置して要求獲得へ。

## ●初山委員・大宮地区本部

JESS北戸田駅。一人勤務。深夜だけ他駅から出勤者がくる。会社は遠隔システムで問題無いというが、実際には事故、遅延、お客様トラブル、急病人、車いすなど負担は大きい。特に早朝時間帯に起こされるのはつらい。窓口閉鎖で社員の券売機案内も多く、事務室を離れている時に何かあっても、運行状況が分からなくなる。指令は一人勤務の事を考慮していないのでは。コールセンターの負担も大きい。

大宮地区本部では、大宮工場支部、宇都宮支部を閉鎖。31分会を、大宮地域分会と宇都宮地域分会の2分会に統合。JR採用組合員も分会を担い、国鉄採用者が周りを固め、分会運動を支える。

## ●阿部委員・盛岡地本

4月からユニオン建設一ノ関に出向中で施工・管理、線閉責任者、保守用車責任者をやっている。出向者は2連夜はあるが、プロパー社員は最長5連夜の仕事もある。一人当たりの業務量が増えている。支社人事課にJRからの出向を増やしてと要請するが難しい。本体エルダーの方に話を聞くと、人数減をモニタリングなどハード面で補っている状態。若い社員は業務研究をやらされて、現場に出ない。パートナー会社との横の繋がりが期待されているが、話がつながらない人が増えている。

組織再編については、組合員がいなくなっている中、隅々まで見ていく体制をとってほしい。

## ●保泉委員・高崎地本

新幹線架線トラブルと感電事故。作業員は体にも心にも大きな傷が残る。会社に安全対策への追及を。会社は「柔軟な働き方」と称して労働密度を濃くしている。若手社員の不安からの離職。アンテナを高くして情報をつかもう。職場代表者選挙を通じて労働組合の必要性を訴えよう。1月には恒例のボウリング大会にJESS社員も参加。今後も交流を続けていく。

## ●坂本委員・長野地本

組合員資格継続を求めている問題。65歳での雇用問題は、国労組織にかかわる全国の問題である。駅の無人化・窓口閉鎖。設備関係職場でもコスト削減・周期延伸。安全とサービスの追及を。ローカル線問題では、大衆行動の取り組みを。(その他24春闘、平和と民主主義の問題について発言)

組合員資格継続を求めている問題。65歳での雇用問題は、国労組織にかかわる全国の問題である。駅の無人化・窓口閉鎖。設備関係職場でもコスト削減・周期延伸。安全とサービスの追及を。ローカル線問題では、大衆行動の取り組みを。(その他24春闘、平和と民主主義の問題について発言)

## ●嶋田委員・千葉地本

若年層が「仕事に魅力を感じない」と離職が目立つ。西船橋保線区では、新採者や若手社員と「語る会」を開催し、組合の必要性を訴えた。今年が正念場。分会組織の再編後も若手社員とコミュニケーションを取っていく。6月からエルダーで出向先は警備か清掃し

「出向先は警備か清掃し

かない」と言われる。過酷な労働環境の所が多く、「中小企業なので、年休を取らないでほしい」と言われることも。問題解決に向け、取り組みの強化を。

京葉線の快速問題があったが、利用者の意見に耳を傾けず、トイレや時計、窓口を廃止。今のJRに公共性の考えはない。街頭宣伝も計画し、組合の考えをアピールしていく。

分会大会において、貨物会社の「助役が足りず穴埋めができない」「若年退職増大の原因究明と対策を」と要員不足に対する発言や「会社が買ってくれず、自分で用意する」「年末の差し入れは、信州ロジはあったが、貨物会社は無かった」などの徹底した経費削減の話も。

また「年齢上昇の速度に組織再編が追いつかない」「役員負担が大きくなりスリム化賛成」「機関運営を担う人数が足りない」「今まで通りの運動は無理」などの意見。今後の不安で国労を辞めた方も出ているが、それでも「やはり国労は必要」という気持ちの仲間もいる。党派の時代はやめ、次世

代が運動しやすい、機関の整理・統合を大胆に。



## ●佐藤賢一委員・東京支部

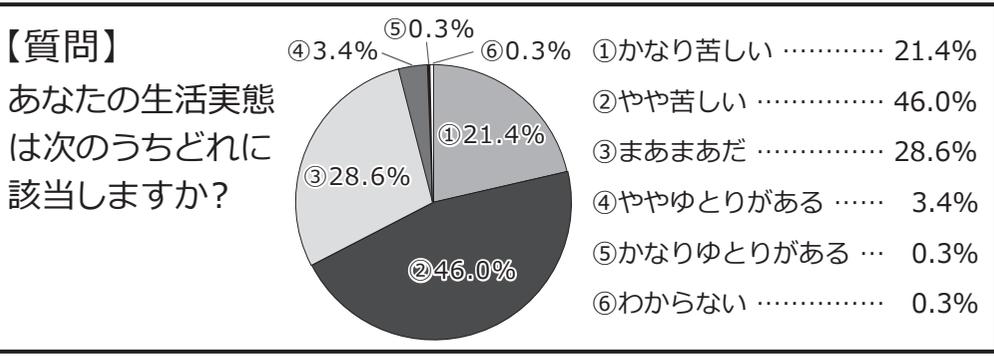
JESS職場は要員不足が深刻。年休が入らず、休みたい人は突発するしかない。買い上げしなければ勤務が組めない。一時は65歳以上の契約はしなかったが「頼むから残ってくれ」と言われる。JESS駅でも窓口閉鎖や、それに伴う異動もあるが、組合への提案・交渉はあのか。会社と対峙し、支店との交渉も穴をあけてほしい。

若手組合員の脱退が続く「どうして相談してくれなかったのか」という思いがあるが「本音で話し合っていない」何かがあるのだろう。どう信頼関係を築くかが問われる。取手駅で山宮さんが加入したが、今は国労組合員一人。その中でも仲間を増やそうと奮闘中。「東労組の時代に、国労の人が親身になってくれ。自分が今の職場でできないかと思っている」と頑張っている。

「東労組の時代に、国労の人が親身になってくれ。自分が今の職場でできないかと思っている」と頑張っている。



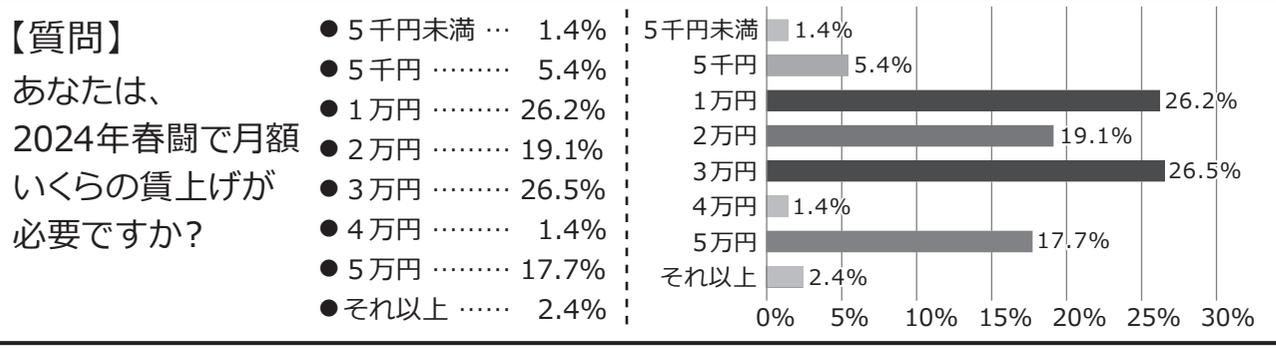
# 24春闘・夏季手当アンケート中間報告



【質問】夏季手当は具体的に何ヵ月分くらい必要ですか？

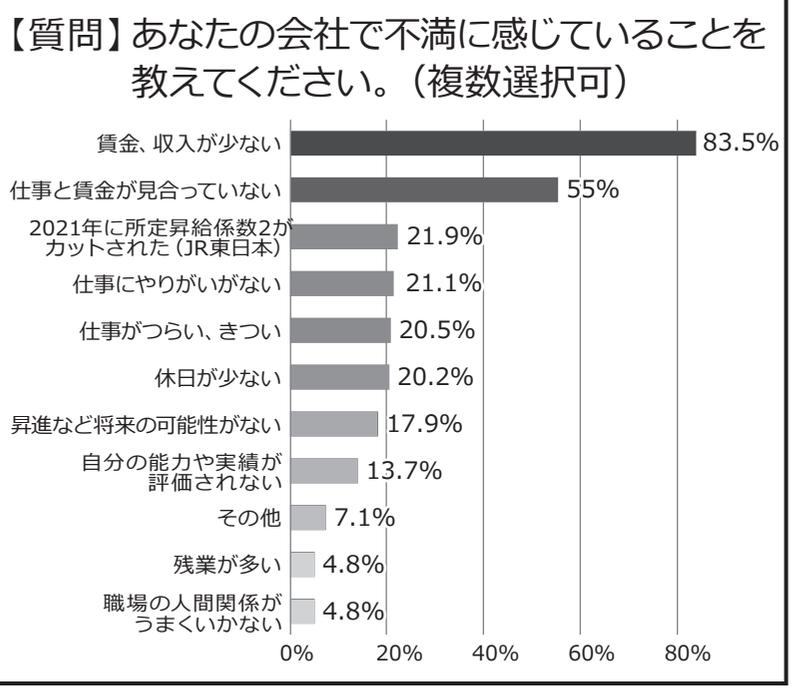
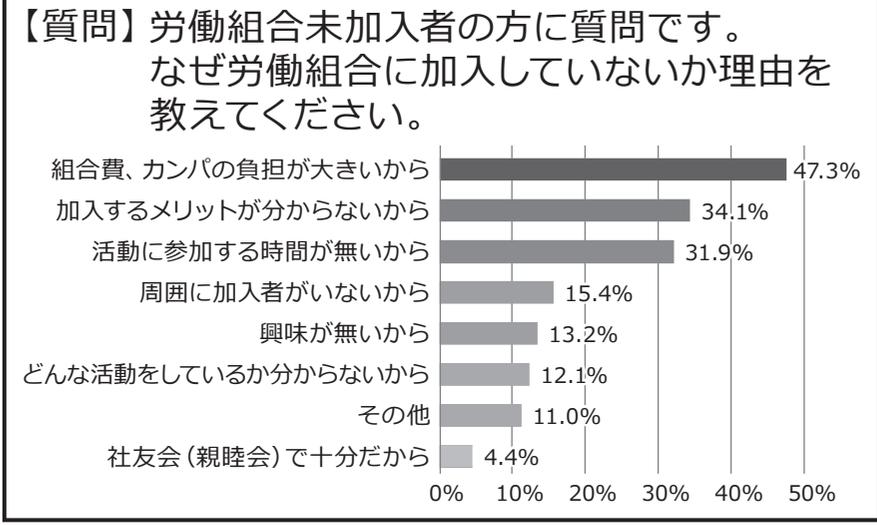
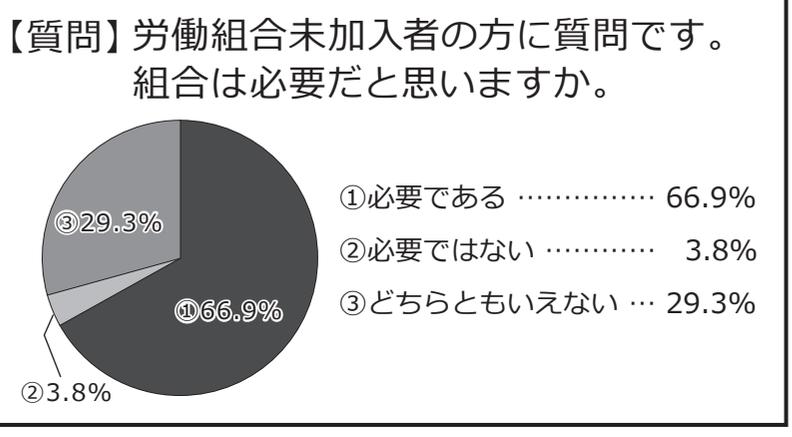
【会社別平均】

JR東日本	3.2ヵ月
JR貨物	2.99ヵ月
JESS	2.99ヵ月
LiViT	3.2ヵ月
その他	2.88ヵ月
<b>全体平均</b>	<b>3.14ヵ月</b>



【会社別平均】

JR東日本	25,752円
JR貨物	27,000円
JESS	17,727円
LiViT	32,500円
その他	21,000円
<b>【全体平均】</b>	<b>25,418円</b>



●生活実態の調査では「かなり苦しい」が21.4%、「やや苦しい」が46%となっており、苦しいと感じているのは合わせて67.4%との結果になりました。

●月額の上昇では全体の平均で「25,418円」、夏季手当での要求額は全体平均では3.14ヵ月が必要であるとの結果になりました。

●あなたの会社で不満に感じていることについては、「賃金、収入が少ない」が83.5%、「仕事と賃金が見合っていない」が55%との結果となっており、「賃金」に対しての不満が多くを占めている結果となりました。

●組合未加入者への質問に対しては「組合費、カンパの負担が大きいから」が47.3%、「加入するメリットが分からないから」が34.1%、「活動に参加する時間が無いから」が31.9%との結果になっており、また、その他の自由記述の意見として「未だに組合差別があるのではないかと不安」「魅力を感じる組合がない」「人数が少ない組合が多く、力がないように感じる」との意見も頂いております。

未加入者に対して引き続き、必要性や重要性を分かりやすく丁寧に伝えていくことが大切であると分かりました。

がん保険にできることを、もっと。

**No.1** アフラックがん保険 国産がん保険 保有契約件数 令和3年度 インシチュアランス生命保険統計号

NEW 「生きる」を創るがん保険 WINGS

1 幅広い保障で 経済的負担をサポート  
治療前の検査から治療後の外見ケアまで幅広い保障でしっかり備えることができます。

2 付帯サービス「アフラックのよりそうがん相談サポート」(※1) > (2023年1月23日サービス提供開始予定)  
アフラックのよりそうがん相談サポーターがさまざまな悩みの解決をサポート  
「がんかもしれない」と思ったときから専門知識を持つ相談員が親身にお応えします。

(※1) アフラックのよりそうがん相談サポートはHatch Healthcare株式会社またはHatch Healthcare株式会社提携先が提供するサービスであり、アフラックの保険契約による保障内容ではありません。  
サービスの詳細は、アフラック公式サイトページ(<https://www.afac.co.jp/keiyaku/gansoudansupport.html>)をご確認ください。

(募集代理店) (アフラックは代理店制度を採用しています) (引受保険会社) AFツール-2022-0277-2210030 7月13日

**アベニール株式会社**  
〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5  
交通ビル3階  
TEL.03-3437-6810 FAX.03-3437-6822

**Affac**  
「生きる」を創る。アフラック  
東京第二法人営業部  
東京都千代田区丸の内1-6-1  
丸の内センタービル19階  
TEL.03-6385-9829 FAX.03-3218-3885

**24春闘・夏季手当アンケート継続中!**

今現在、各会社との間で交渉およびそれに向けた取り組みが行われており、それぞれの回答が出されるまでの間、アンケートの取り組みを継続しています！みなさまのご協力よろしくお祈りします！